

教授陣の卓越した研究を知り
個性的な人柄にも触れる。
「知」との貴重な出会いのページです。

研究室を訪ねて



「人」(出会い)「性」(性)など、時代を映し出すテーマを研究しているため、研究者・学生を問わず、常に積極的に人と意見を交わし合うことを信条としている

研究室を訪ねて

一点から線へ、線から面へと広げる「恋愛」の研究 現代社会は恋愛依存傾向？ 歴史を検証し哲学的視点から分析

人文学部 文化学科
宮野 真生子
准教授

有意味な反面、恋愛依存症に陥る危険性も
自分を見失わないバランス感覚が大切

「袖すり合うも多生の縁」と言いますが、2万人の学生が行き交う広大な福岡大学のキャンパスでは、同級生や先輩・後輩、部活の仲間など、毎日たくさんのお会いや縁が交差しています。近代日本哲学を専門とする宮野先生の研究テーマは、さまざまな縁の中でも特に「偶然性」と「恋愛」です。

学生時代の恋愛は、一人の人と深く関わる体験を通して自分自身を見詰め直し、人間的に成長するためのチャンスだと先生は言います。現代は、FacebookやLINEなど、連絡ツールが多様化し、恋愛の仕方も様変わりしてきましたが、学術的な視点で見ると、時代を経ても変わらないものもあるとか。先生は世間を騒がせるストーリー事件を例に挙げ、「誰かを好きになり、いわずに思



「ドラマや映画化された人気コミックを授業の冒頭で紹介することで、興味を生まれるせいで授業中の議論も活発になります」と宮野先生。教材で使う作品を選ぶために、話題性の高い作品のチェックは欠かせないそうです。
©大沢運演劇制作/集英社

ど、あらゆる選択を自分で決めなくては行けない。自由には、プレッシャーがつきもので。スーパースターになれる人はほんの一握りで、産業構造の効率化も進み、例えば、誰かがアルバイトや仕事を辞めても他の誰かが「交換可能」な構造になっています。対して恋愛は、誰かのオンリーワンになって、自分の存在価値を認識できる。だから、依存してしまおう人が出てくるのです。素い反面危険な面も持っているのが恋愛です。このテーマについて深く思索し、時には仲間同士でディスカッションをすることで、バランス感覚を身に付けてください」。

バーチャル化、同性婚など多様化する
恋愛模様について研究を深めていく

近年の若者は、恋愛離れの傾向が見られると指摘した先生。その原因の一端は、漫画やゲームなど、恋愛のコンテンツやメディアばかりが充実し過ぎたことにあると分析します。「ドラマや映画のような恋愛が普通だと勘違いしてしまえば、現実の世界で恋愛することに恐怖心が生まれ、消極的になってしまおうとしよう。情報があふれ過ぎている現代の弊害がもしもありません。恋愛への興味や入り口は変わらないのに、深く知っていくことの楽しさや別れのつらさなどのリアル感が薄くなり、なだらかに恋愛の在り方が解体していついこうと言えます。また、「自分をしっかり持たなくちゃ」「恋愛にはしんどいことが多い」などの固定観念を持つ人も多いようです。しかし、自



「学生チャレンジプロジェクト」で採択された本学の学生が主催した、性の多様性を尊重し合おうと呼び掛ける「レインボーパレード」に参加



九州産業大学の先生と合同ゼミを開催し、グループディスカッション。この日のテーマは、「性」について。県外からも多くの大学生が参加した

分が変わることは決して悪いことではありません。誰かの影響で世界や興味の範囲が広がり、自分自身をブラッシュアップさせることも恋愛の醍醐味の一つなのです。

先生の授業では必ず、冒頭で恋愛コミックの1シーンを取り上げます。それを入り口に、「恋をしたら人はどんな表情や気持ちになるか」「誰かといると時々煩わしい気持ちになるか」「誰かを愛せたいけど、学生時代のディスカッションへと導きます」「大学時代は恋愛に限らず、悩み多き時代ではないでしょうか。私自身、大学時代は人との関係づくりについて大いに悩みました。モヤモヤとした無形の悩みを言葉にして明確化できる哲学に救わ

れ、この道を進み、考える力を磨いてきました」と、先生。さらに哲学の意義について、専門知識や技術に比べ、すぐに社会に対して影響することは少ないかもしれませんが、普遍的な提え方考え方を突き詰める学問なので、習得すれば一生の財産になりますと話します。

今後の研究について尋ねると、「これからの時代は、恋愛や結婚の形が多様化していきます。出会いや恋愛を一つの「点」とすると、誰かと共に生きていくのは2本の「線」が面を作っていくようなイメージです。そのやり方や形について、研究を深め、学生たちとも共有していきたいです」と抱負を語る先生。本学での合同ゼミはもちろん、他大学の先生との合同ゼミなどにも積極的で、「熱く、激しい議論を繰り返したい」と意欲を見せてくれました。

現代の「良い恋愛」とはバランス感覚

現代の恋愛傾向

誰かがいなくても他者で補える交換可能な社会構造のため、オンリーワンになれる恋愛に依存しやすいため、恋愛のコンテンツが増え情報が過多になり、現実では恋愛に消極的な人も増えている。

理想の恋愛像

相手を自分中心に思い過ぎる自分中心の状態や、人の目ばかりが気になる他人中心の状態を避け、バランス良く真ん中に立つことが自分の成長を促す恋愛の理想。



研究室で発見! 先生モノがたり

「熱くて美しいエキサイティングがある」広島カーブの大ファン。月に1度は球場へ足を運ぶ

幼い頃から野球が大好き。そんな宮野先生が応援しているチームは、広島カーブ。ファンクラブにも入っていて、今もシーズン中は月に1度、広島に試合観戦に行きます。「野球も偶然性の重なるのスポーツなので、何が起るか分からないドキドキ感と臨場感がたまりません。時折見る、奇跡のようにエキサイティングなプレーには、美しさを感ずくと興奮気味に語ってくれました。好きな選手は、菊池涼介選手。スピード感あふれる攻撃守に魅了されているそうです。ファンクラブの会員限定で手に入る今年の限定ユニフォームが、研究室に飾ってあります。

